

## 長岡市地理情報・電子住宅地図システム用共有地形データ更新業務委託仕様書

### 1 業務の名称

この業務の名称は、「長岡市地理情報・電子住宅地図システム用共有地形データ更新業務」という。

### 2 業務の実施期間

別途契約書による。

### 3 業務の目的

長岡市地理情報・電子住宅地図システムで利用する共有地形データを各課の資料で修正更新することにより、日常業務を円滑に遂行できる環境を整備することを目的とする。

### 4 業務の実施場所

別途契約書による。

ただし、資料の収集やヒアリング等は適宜、各庁舎で作業するものとする。

### 5 データの定義

本業務で扱うデータの空間参照系は、下記の定義に従うものとする。

- (1) 準拠する測地系 : 世界測地系(測地成果2000)
- (2) 水平位置の座標系 : 平面直角座標第Ⅷ系に基づく座標系
- (3) 垂直位置の基準面 : 東京湾平均海面を基準とする高さ

### 6 業務内容及び範囲

本業務について、以下に示す業務を実施する。

#### (1) 計画準備

本業務の目的を十分考慮し作業の方法及び全体計画を立案する。

#### (2) 打合せ・協議

業務を適正かつ円滑に実施するために、必要に応じて、打合せ・協議を実施する。また、その内容について打合せ簿等を作成し報告するものとする。

#### (3) 資料の収集・整理

修正更新作業に必要な資料やデータを保有する各課に依頼して入手する。

必要に応じて貸与の申請書や借用書等を提出するものとする。

#### (4) 予察作業、修正更新方式の検討

予察作業において共有地形データの修正箇所を抽出し修正方法を決める。  
オルソフォトデータ、道路台帳データ、家屋図形データ等を利用して、最良の修正更新方法を選択するものである。

また、データ内容、状態、属性保有状況等も確認する。

一方、予察作業途中において判明した不整合箇所については抽出し、協議用の資料として説明等を付与してまとめ、打合せを行うものとする。

#### (5) データ修正更新

データの修正更新作業は予察結果に基づき、下記のいずれかの手法により実施する。

- ① G I Sデータ (Shape、GeoDatabase形式) の場合
  - ・ 投影定義、フィールド項目、属性内容の確認・統一
  - ・ 更新データ作成、編集
- ② C A Dデータ (DM、Dxf形式等) の場合
  - ・ Shapeファイルへ変換
  - ・ 属性の入力、内容確認・統一
  - ・ 更新データ作成、編集
- ③ 紙図面、マイラ図面の場合
  - ・ データスキャニング
  - ・ 対話処理をするためG I Sソフトに取込み、幾何補正、
  - ・ 計測・更新データ作成、属性の入力、編集

#### (6) 編集及び修正更新データファイルの作成

データの更新作業により作成された修正更新データを現行のデータへ組込み、更新済データを作成するものとする。なお、修正更新作業時において、下記の各データの属性情報で種別区分ができるデータとする。

※ 下記の詳細については別紙構造化定義書、レイヤ属性表、データファイル定義書等参照のこと。

- ① 道路データ
  - ・ 陰線、実線/破線等の区分、真幅道路、歩道等の区分
- ② 家形データ
  - ・ 家形データのポリゴン化、施設名称、普通・堅牢等の種別属性

※都市計画基礎調査データ(建物調査関係)を意識すること。

③ その他データ

- ・道路及び家形データの修正に伴い、連なる河川、等高線、その他構造物等のデータにも修正を加えるものとする。

(7) 点検・確認

作成したデータの点検・検査を行う。検査は目視による確認検査とチェックプログラムによる検査を行う。また、本業務において行った内容について、業務終了後、長岡市へ報告及び説明等の資料を提出する。

(8) インストール、データセット作業

長岡市が運用中の長岡市地理情報・電子住宅地図システムについて、日常業務に影響を与えることなく、共有地形データの更新、インストール、データセット作業を行う。

7 その他

本業務は本仕様書に基づいて実施するものとする。

また、本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合については、その都度協議して定めるものとする。